

愛知県に給付型奨学金制度の導入などを求める請願書

紹介議員

わしの 恵子
下奥 奈歩

《趣旨》

大学の学費の高騰と家計収入の減少により、今や大学生の2人に1人が、何らかの「奨学金」を利用しています。さらに、不安定雇用や低賃金労働の拡大により、卒業しても返済に苦しみ、「返したくても返せない」人たちが増加していき、また、高等教育の無償化や給付型奨学金が主流となっており、貸与型奨学金制度は卒業後の安定収入を個人が確保しなくてはならないという前提でシミュレーションがなされています。その矛盾が、若いうちで象徴的な借入額を背負って社会に出ていくと、連鎖的に加速し、結婚・出産・子育てが困難となり、少子化・人口減を更に加速させ、未来を担う若者を社会全体で支え、持続可能な社会にするため、私たちは以下の奨学金制度の導入と教育予算の増額を求めます。

《請願事項》

1. 愛知県に速やかに、大学生を対象とした独自の給付型奨学金制度を導入するよう求めます。さらに、高校を含めて拡充してください。
2. 教育予算を大幅に増額してください。
3. 私学助成を大幅に増額してください。

平成 28 年 12 月 1 日

愛知県議会議長
鈴木孝昌様

461-0004
愛知県名古屋市東区葵 1 丁目 2 2 - 2 6
愛知民主会館 3 階 TEL. 052-933-2662

愛知県学生自治会連合 (県学連)
執行委員長 落合拓

